

所 属・職 位	医学部医学科総合診療・総合内科学講座・教授	
氏 名	宮崎 英士 (Miyazaki Eishi)	
取 得 学 位	博士 (医学)、大分医科大学、1992年6月	
SDGs 目標	 	

研 究 分 野	総合診療医学、地域医療学、呼吸器病学
研究キーワード	総合診療、地域医療、高齢者、気管支喘息
研 究 内 容	● 高齢者の疾病予防、健康増進に関する研究 ◇ ソーシャルキャピタルを活用した認知症の早期発見と予防 県北のA市との共同研究として、高齢者サロンに参加した住民を対象として、認知症の簡便なスクリーニング検査法を確立する。 ◇ サルコペニア高齢者の身体活動度を増やす方法に関する研究 県南のB市と連携して、認知行動療法、運動療法、健康教育の併用がサルコペニア高齢者の身体活動量を増やすかどうかを明らかにする。 ◇ 高齢者喘息に吸入ステロイドが使用されない因子の解析 喘息の標準治療である吸入ステロイド薬の処方率には地域間格差、病院－診療所間格差が大きいことを明らかにした (Tohoku J Exp Med. 2020; 251: 135)。薬局への介入が処方率改善に寄与するか否かについて検討を行う。また、コロナ禍での診療実態についてもレセプト調査で明らかにする。 ● 複雑困難症例、多疾患併存に関する研究 ◇ 3週間原因不明の“古典的不明熱”を呈した患者のうち20～30%は無治療で自然緩解する。初診時にself-limitingな経過を予測させるバイオマーカーを明らかにし、スコアリングシステムの開発に繋げる。 ◇ 診療所における多疾患併存患者が日常診療に及ぼす影響の検討 MCAMを用いて複雑度の解析を行い、日々の複雑患者の数と医療・介護スタッフの疲労度の関連について検討している。
研 究 業 績・アピールポイント	● 論文 2022年, Utsunomiya R, Shiota S, Ishii T, Sano K, Suzuki T, Hasegawa H, Miyazaki E. Plasma Exchange Did Not Reduce Viral Load in a Recovered Case of Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome. Intern Med. 2022;61:253. 2022年, Horinouchi N, Shiota S, Takakura T, Yoshida A, Kikuchi K, Nishizono A, Miyazaki E. J. Med. Casde Rep. 2022 16:19 2021年, Horinouchi N, Shiota S, Takakura T, Yamamoto K, Miyazaki E. Polypharmacy in Japanese primary care and association with length of hospital stay: a prospective cohort study. J Hos Gen Med. 2021;3-6:190. 2020年, Ishii T, Shiota S, Yamamoto K, Abe K, Miyazaki E. Inhaled corticosteroid-containing regimens reduce hospitalizations and healthcare costs among elderly asthmatics: real-world validation using the National Health Insurance Claims Database. Tohoku J Exp Med. 251: 135